

開会挨拶（2023年6月20日）

皆様こんにちは。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。第155回運輸政策コロキウムの開会に当たり一言申し上げます。

本日のコロキウムでは、当研究所のマハルジャン・ラジャリ研究員が報告を行います。ラジャリ研究員は、母国ネパールのトリブアン大学を卒業後、2018年までに東京工業大学で修士及び博士を取得し、国連世界食糧計画（WFP）及び東京工業大学での勤務を経て、2020年1月から当研究所で研究活動を行っています。

最近の研究業績としては、経済協力開発機構（OECD）傘下の国際交通フォーラム（ITF）が若手研究者を対象に設けた論文賞において2020年のtop4に選ばれたほか、国際的な学術出版社からの受賞歴があります。

ラジャリ研究員は、海外の学会での発表にも積極的に取り組み、本年7月にカナダで開催される世界交通学会（WCTRS）及びオランダで開催される国際物流シンポジウム（ISL）において、本日の報告のテーマに関する物流の強靱化戦略や物流DXについて発表を行う予定です。

また、査読審査が厳しいと言われる海外専門誌において、物流の強靱化をテーマとする複数の論文の第一筆者として掲載されるなど、ラジャリ研究員は、まさ

に、当研究所の研究活動を牽引する新進気鋭の研究者であります。

次に、本日のコロキウムの進め方ですが、まず、公益社団法人日本経営工学会の開沼会長に「日本企業におけるサプライチェーンの強靱化の意義」と題して発表をしていただきます。

続いて、ラジャリ研究員が「日本の製造業におけるロジスティクスとサプライチェーンの強靱化戦略を実施する利点の調査」について報告を行い、横浜国立大学の鈴木教授にコメントをしていただきます。

その後、当研究所の山内所長をコーディネーターとして、ディスカッションと質疑応答を行うこととしております。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどうぞお寄せいただければと思います。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げるとともに、本日のコロキウムが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、誠に簡単ではありますが、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしく願いいたします。